

大会宣言

平成20年4月より導入された後期高齢者医療制度をはじめ、年金問題、石油関連の異常な価格高騰、又、あらゆる部門で偽装事件が続発している。

一方で、浄化槽が下水道と同等の生活排水処理施設として認知されているにも関わらず、汚水処理政策における下水道偏重は今なお続いている。今後、下水道の老朽化が進めば、更に自治体財政を圧迫する事は必定である。

議会は国民の未来に大きな責任を負わなければならない。

全国環整連は議会に対し、自治体が財政破綻する事が無きよう、下水道法及び浄化槽法改正により社会的責任を果たす為、総力をもってこれにあたる事をここに宣言する。

平成 20 年 10 月 24 日

全国環境整備事業協同組合連合会

第 34 回 全国大会